

仕様書

ビデオ番組自動送出装置

SWB-06

本装置は、タイムコード制御のVTRを6台まで接続し、タイムテーブルに従って番組を自動送出する装置です。
VTR1台毎の送出は勿論の事、新しい機能として、1本に複数の番組を記録したテープを、番組ごとに送出できる「VTRバンク方式」により、仮想的にVTRの数を増やすことができ、きめの細かい送出パターンの設定が可能になりました。

ハードウェア仕様

AV入力 VTR 6系統 コンポジットビデオ(BNC),音声600Ω+4dB(XLR3-32)*2CH
AUX 2系統 コンポジットビデオ(BNC),音声600Ω+4dB(XLR3-32)*2CH
緊急入力 1系統 コンポジットビデオ(BNC),音声600Ω+4dB(XLR3-32)*2CH
BB入力 1系統 (BNC)

AV出力 PROGRAM 出力 1系統
コンポジットビデオ(BNC),音声600Ω+4dB(XLR3-31)*2CH
MONITOR 出力 1系統
コンポジットビデオ(BNC),音声600Ω+4dB(XLR3-31)*2CH

VTRリモート UVW-1200,1400 DSR-20 RS-232C (D-sub9P)
9P対応機種(RS-422)はオプションのレベル変換ユニット使用

電源制御 AC SWITCHED OUT 8系統 VTR, AUXの電源を制御。(AC2P)
各AC SWITCHED OUT 最大200W, 合計 最大500W 以内

変調器制御 変調器のオーディオモード(モノ、ステレオ、多重)を制御 (DIN5P)

アラーム出力 出力映像が途切れた場合、出力。(同期信号検出方式)メーク接点 (DIN4P)

プリンタ出力 タイムテーブル、実行履歴などの出力用 (セントリクス14P)

校正時計入力 校正時計からの校正パルスを入力することで、内部の時計を校正。
内部時計の精度は月差15秒 (接点入力) (RCA JACK)

CRT タイムテーブルの映像を出力。(RGB,W/B,S-VIDEO) (DSUB15P)

リモート 外部リモート (現在は、未対応)

サイズ 482 (W) *177 (H) *400 (D) 突起部含まず EIA4U ラックマウント可能

重量 約10K g

消費電力 AC100V 40W (本体の消費電力) FUSE:1A125V使用
各AC SWITCHED OUT 最大200W, 合計 最大500W FUSE:5A125V使用

音声入力について (レベル調整機能)

音声入力はバランス(平衡)の600Ω、+4dBを基準にしています。キャノン(XLR)タイプのVTRはそのままストレートに接続できます。

その他の機種の場合(RCAピンの初等)は、そのままの入力ではレベルが合いませんで、レベルとインピーダンスを合わせる必要があります。

本装置は、0~+14dBまで2dBステップでゲイン設定ができますので-10dBの信号なら+4dBまで増幅可能です。入力チャンネルごとにソフトウェアで設定可能です。

また、インピーダンスの切替は、本装置内部のボード上のジャンパーでハイインピーダンス(47KΩ)に切り替え可能です。

この機能により、外部にレベル調整器や変換ユニットを設ける必要がありません。
(ただし、コネクタはキャノン(XLR-3)ですから、RCAピンの場合は変換ケーブルが必要です。)

内部のAVスイッチャーについて

内蔵のAVスイッチャーは9入力2出力構成です。
入力はVTR1~6、AUX1~2、緊急の9系統。
出力は、プログラム出力、モニター出力の2系統です。

プログラム出力監視機能

出力されるビデオ信号をモニターし、信号が途切れるとアラームが鳴ります。
アラームは、アラーム音と外部への信号出力が可能です。

緊急入力について

緊急入力は特別の動作をします。この端子にビデオ信号が入力されると自動的に出力をこの信号に切り替えることができます。この機能は設定でON/OFFできます。
外部からの緊急信号入力として使用します。

プリントアウト

次のデータをプリントアウトできます。
タイムテーブル、実行履歴、映像が途切れたときのNO-VIDEOデータ、緊急入力履歴、VTRバンクデータ、初期設定データ
使用できるプリンタは、セントロニクスインターフェースのキャラクタプリンタです。

(注) プリンタ本体にキャラクタフォントを内蔵しているDOS対応プリンタが使用できます。

時計校正

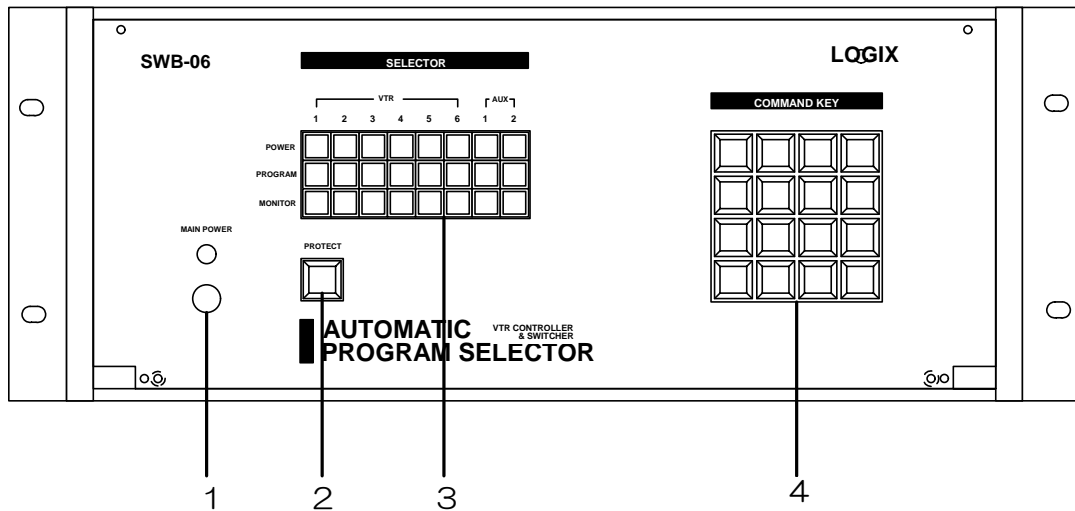
内部の時計は、外部からの接点信号で校正することができます。
信号が入力されると30秒補正を行います。
30秒補正：0~29秒までは0秒に戻ります。

30~59秒までは1分進んで0秒になります。

この機能を使用するには外部に校正時計が必要です。

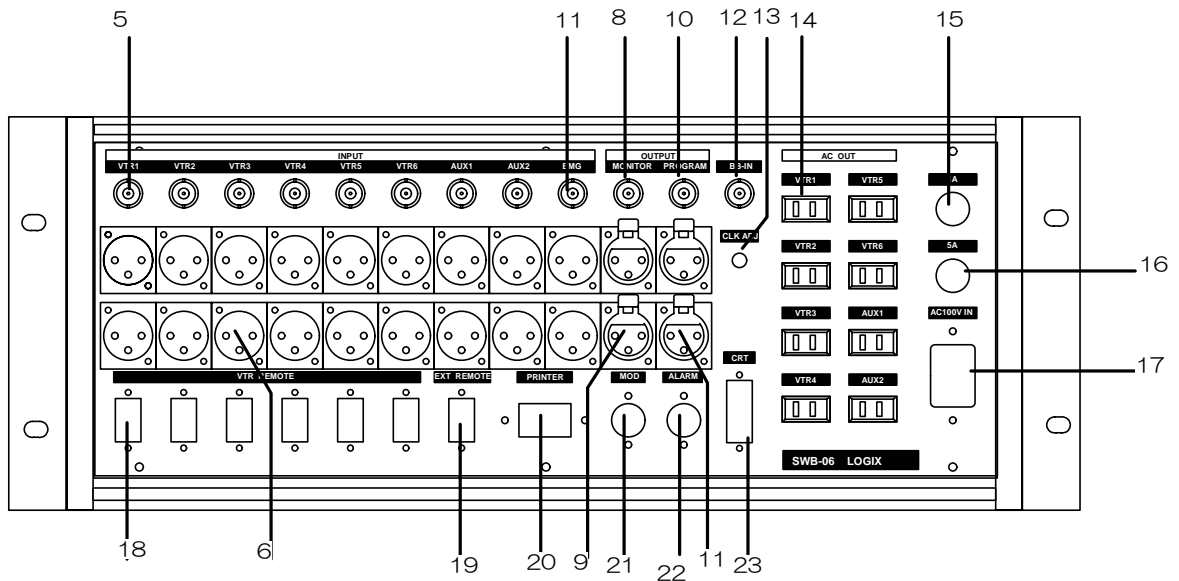
外観図

前面



- | | |
|------------|----------------|
| 1 電源スイッチ | 鍵スイッチを採用。 |
| 2 プロテクトボタン | AVセレクトキーの保護用 |
| 3 AVセレクトキー | AV出力選択、ソース電源制御 |
| 4 コマンドキー | データ入力用 |

後面



- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 5 コンポジットビデオ入力(BNC) | 14 電源出力 |
| 6 音声入力(XLR3-32) | 15 本体用FUSE(1A) |
| 7 緊急ビデオ入力(BNC) | 16 電源出力用FUSE(5A) |
| 8 モニタービデオ出力(BNC) | 17 電源入力 |
| 9 モニター音声出力(XLR3-31) | 18 VTRリモート(D-SUB9P) |
| 10 プログラムビデオ出力(BNC) | 19 リモート(D-SUB9P) |
| 11 プログラム音声出力(XLR3-31) | 20 プリンタ出力(セト14P) |
| 12 BB入力(BNC) | 21 変調器制御出力(DIN5P) |
| 13 校正時計入力(RCA) | 22 アラーム出力 |
| | 23 CRT |

タイムテーブルモニターについて

アナログRGB（水平周波数15.75KHz）、S-VIDEO入力のカラーモニター、もしくはコンポジットビデオ入力の白黒モニターが使用できます。
タイムテーブル表示用の信号は、RGB、S-VIDEO、W/Bが1つのコネクタにまとめてアサインされていますので、信号別にオプションのケーブルが別途必要です。

変調器制御について

変調する場合は音声モードを設定できます。
VTRごとに、モノラル、ステレオ、音声多重を指定しておく、送出実行時、変調器をそのモードにコントロールすることが可能です。

電源制御について

接続VTRや、AUX機器の電源は、本装置のコンセントから制御できます。
消費電力は1台あたり最大200W、合計で500Wです。

不明な点は下記までお問い合わせ下さい

(有) ロジックス 開発、製造元
担当 山本

電話 0956-25-3963
FAX 0956-25-3964
E-mail logix@lgx.co.jp

857-0055 長崎県佐世保市湊町2-15

コントロールできるVTR

ソニー UVW-1200(1400),DSR-20 は RS-232Cでダイレクト接続可能
9P° ㊦の機種はオプションのレベル変換ユニットで9Pに変換します。

本装置のVTRリモートはUVW-1200(1400),DSR-20のRS232C° ㊦と、9P° ㊦に対応していますが、信号は、RS232Cレベルです。UVW-1200(1400),DSR-20にはダイレクト接続できますが、9P° ㊦はRS-422ですから、信号のレベルと、伝送方式の変換が必要になるため、オプションの変換ユニットで対応します。ユニットはVTR 1台につき1個必要です。
変換ユニットサイズ：100(W)*40(H)*140(D)

タイムコードによる制御

VTRの制御はタイムコードによって行います。タイムコード機能のないVTR、タイムコードの記録されていないテープは使用できません。
番組のはじめのタイムコードと、終わりのタイムコードを設定することにより、頭出し動作や、送出時間の計算等を行います。

VTRバンク

従来は、1本のテープに対して1番組の設定でしたので、6台のVTRでは、6番組しか送出することができませんでした。番組が多いときにはテープを編集して1本の番組として対応していました。

本装置は、VTRをタイムコードで制御しますので、テープの途中の任意の箇所を再生できます。また、1本のテープに対して9番組を設定できるようになりました。
これにより、6台のVTRで、最大54番組の設定が可能となり、きめの細かい送出パターンを組むことができます。特に、CM送出等などには最適です。

VTRバンクは、VTRごとに9個のバンクがあり、VTR1の場合はV1-1~V1-9、VTR5の場合は V5-1~V5-9 の様に表現します。それぞれのバンクは番組のはじめのタイムコードと終わりのタイムコードデータです。たとえば、

V1-1 01:00:00:00 01:30:00:00

の様に設定します。このVTRバンクデータにより、頭出し動作や、番組の長さの計算を行います。

タイムテーブル

送出は、タイムテーブルに従って実行されます。
タイムテーブルに入力するデータは実行開始時刻、VTRバンク番号です。
VTRに関しては、あらかじめVTRバンクデータの設定が必要です。

まず、最初に、スタートする曜日、時刻、出力するソース（VTR、AUX）を入力します。
出力するソースがVTRなら、出力される番組の長さは計算されていますので、自動的に次の開始時刻は表示されます。

AUXの場合は、タイムコードがないため番組の長さの計算ができませんので、次に実行する時刻を入力することになります。

タイムテーブルにはタイムコードを入力する必要がないので、タイムテーブル入力、変更はいたって簡単です。

また、繰り返しのパターンは、コピー機能により、何度も同じデータを入力する必要はありません。

タイムテーブルは1200行迄入力できます。平均的な送出プログラムなら、2~4週間分くらいは入力できます。

系統図

* DSR-20の電源制御はソフト的に行います。
電源はSWB-06のSWITCHEDOUTからはとらずに常時ONのポートに接続します。

